

令和2年8月28日(金)
国土交通省関東地方整備局
常総国道事務所
常陸河川国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社
水戸工事事務所

— お知らせ —

東関道水戸線（潮来～鉾田）事業連絡調整会議（第2回）
開催結果

本日開催した「東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）事業連絡調整会議（第2回）」の開催結果をお知らせします。
会議の概要は以下のとおりです。

<開催日時・場所>

令和2年8月28日(金) 14時00分～14時30分
行方市 玉造公民館 大ホール

<構成機関>

茨城県土木部道路建設課、潮来市建設部、行方市建設部、鉾田市建設部
国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所、常陸河川国道事務所、
東日本高速道路（株）関東支社 水戸工事事務所

<開催結果概要について>

別紙の通り

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所 電話 029-826-2040（代表）
副所長 もり ひろき 森 浩樹 調査課長 たけざわ ひろつぐ 竹澤 弘嗣

東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)事業連絡調整会議(第2回) 開催結果概要

1. 日時

令和2年8月28日(金) 14:00～14:30

2. 出席者

茨城県 土木部 道路建設課長 羽成 英臣

潮来市 建設部長 石津 利衛

行方市 建設部長 飛田 貢

鉾田市 建設部長 中根 衛

国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所長 丸山 昌宏

常陸河川国道事務所長 原田 昌直

東日本高速道路株式会社関東支社 水戸工事事務所長 増渕 善明

3. 議事概要

茨城県、潮来市、行方市、鉾田市及び事業者は、今回の調整会議において、以下のとおり意見交換及び確認した。

(1) 事業進捗状況について

・現在の用地取得、埋蔵文化財調査及び工事の進捗状況について確認した。

(2) 休憩施設の状況について

・休憩施設の候補箇所については、道路利用者の利便性、沿線の土地利用状況、整備コスト等の総合的な観点から、行方市域(麻生IC(仮称)～北浦IC(仮称))とすることを確認した。

・休憩施設の整備にあたっては、道路利用者への利便性向上を図るとともに、地域活性化の場としても活用できるようにしてほしいとの意見が行方市よりあった。

・これらの意見を踏まえ、具体的な設置箇所、休憩施設の整備形態及び地域振興施設の併設については、引き続き検討を続ける。

以上

東関道水戸線（潮来～鉾田）事業連絡調整会議（第2回）

説明資料

令和2年 8月28日

国土交通省関東地方整備局
常総国道事務所
常陸河川国道事務所

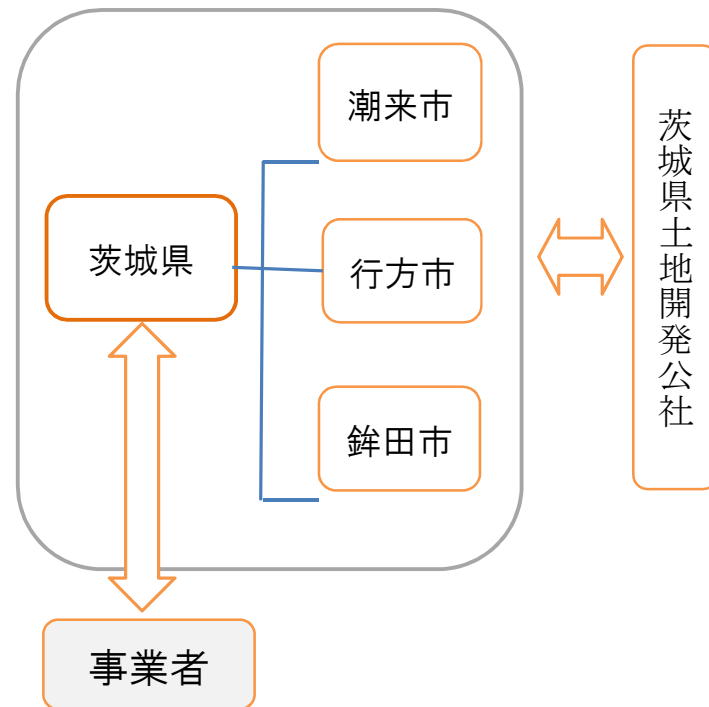
東日本高速道路株式会社関東支社
水戸工事事務所

東関東水戸線（潮来～銚田）事業の進捗状況（用地・埋蔵文化財調査）

- 用地取得状況
平成21年度より用地着手。
茨城県及び潮来市、行方市、銚田市による支援を得ながら、**全体の進捗率は現在約95%**。
- 埋蔵文化財調査
平成26年度より埋蔵文化財調査着手。**区間全体の進捗率は、約97%**。



東関東自動車道水戸線 用地取得推進チーム



区間	潮来IC～銚田IC
用地取得進捗率 (面積ベース)	約95%
埋蔵文化財調査 進捗率	約97%

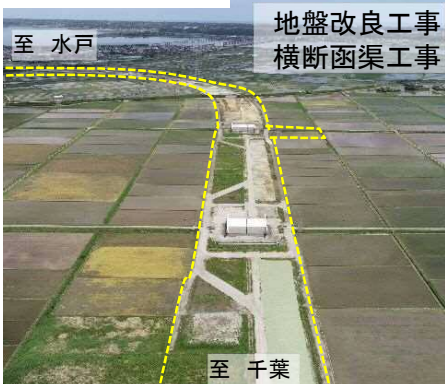
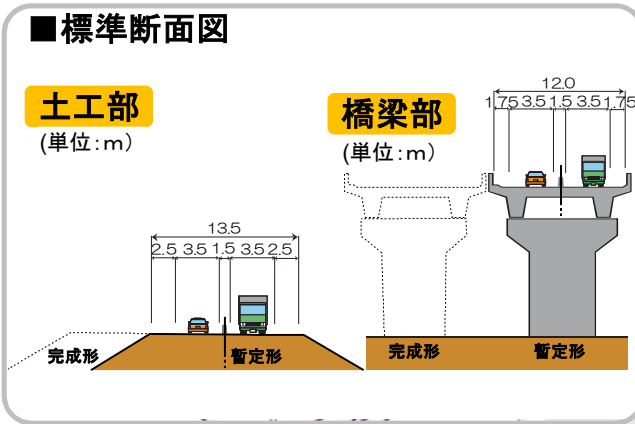
※埋蔵文化財調査は、茨城県との調整により調査必要範囲を事前に確定
工事着手前に茨城県により試掘調査を実施し、その結果を踏まえ(公財)茨城県教育
財団にて本掘調査を実施

※R2年7月末現在

東関道水戸線（潮来～鉾田）事業の進捗状況（工事）

- 現在、横断函渠・本線函渠・地盤改良・調整池・橋梁上部・橋梁下部工事など施工中。

※R2年7月末現在



東関道水戸線（潮来～鉾田）休憩施設の状況

【第1回事業連絡調整会議より】

- 東関道水戸線における道路利用者へのサービス向上の観点から、事業区間内(潮来～鉾田)に休憩施設の必要性を確認。
- 休憩施設については、利用者の利便性向上に加え、沿線自治体の地域振興により大きく貢献することが期待される地域振興施設併設型の休憩施設を基本に検討。



○事業者において考慮すべき諸条件を整理の上、候補箇所の検討を実施

【箇所選定にあたり考慮すべき諸条件の整理】

- ①利便性(既存休憩施設からの施設間隔)
- ②安全性
- ③土地利用状況
- ④施工性
- ⑤経済性(整備コスト)
- ⑥地域振興施設併設の適用性



- 総合的な観点から行方市域(麻生IC(仮称)～北浦IC(仮称)間)を休憩施設の設置候補箇所とする。
- 具体的な設置箇所、休憩施設の形態及び地域振興施設の設置については、引き続き検討を続ける。

東関東水戸線（潮来～鉾田）休憩施設の状況

○休憩施設の候補箇所については、道路利用者の利便性、沿線の土地利用状況、整備コスト等の総合的な観点から行方市域（麻生IC(仮称)～北浦IC(仮称)間）を休憩施設の設置候補箇所とする。

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田） 延長:30.9km

